

2018年5月25日

マスミューチュアル生命保険株式会社

ソルベンシー・マージン比率の訂正について

2017年11月24日付で公表の「2017年度第2四半期（上半期）業績のお知らせ」および2018年2月14日付で公表の「2017年度第3四半期業績のお知らせ」に記載のソルベンシー・マージン比率に誤りがあることが判明いたしました。謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

記

1. 訂正内容

ソルベンシー・マージン比率の訂正

	誤	正
2017年度第2四半期（2017年9月30日）	871.7%	872.0%
2017年度第3四半期（2017年12月31日）	911.1%	911.4%

2. 訂正理由

土地の含み損益につき、保有する土地の評価額に一部誤りがあったため。

3. 訂正箇所

本リリースをもって、別紙2に記載された当社の過去のニュースリリース数値を訂正いたします。

以上

本件に関する問い合わせ先
マスミューチュアル生命保険株式会社
コーポレート・プランニング部
TEL.03-6368-7200

【訂正箇所】 ※訂正箇所到下線を付しています

■「2017年度第2四半期（上半期）業績のお知らせ」20ページ：

10. ソルベンシー・マージン比率

<訂正前>

(単位：百万円)

項目	2016年度末	2017年度 第2四半期 (上半期)末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	244,679	264,389
資本金等	78,096	86,464
価格変動準備金	8,223	9,018
危険準備金	19,206	20,034
一般貸倒引当金	9	3
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	15,154	22,518
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 724	△ 640
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	29,807	28,830
負債性資本調達手段等	83,200	83,200
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	11,706	14,960
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	60,420	60,654
保険リスク相当額 R_1	9,628	9,614
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	430	414
予定利率リスク相当額 R_2	10,574	10,916
最低保証リスク相当額 R_7	23	18
資産運用リスク相当額 R_3	47,594	47,495
経営管理リスク相当額 R_4	1,365	1,369
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	809.9%	871.7%

(注) 1. 上記は保険業法施行規則第86条、第87条及び1996年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

2. 最低保証リスク相当額 R_7 は、標準的方式により算出しています。

<訂正後>

(単位：百万円)

項 目	2016年度末	2017年度 第2四半期 (上半期)末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	244,679	264,472
資本金等	78,096	86,464
価格変動準備金	8,223	9,018
危険準備金	19,206	20,034
一般貸倒引当金	9	3
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	15,154	22,518
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 724	△ 557
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	29,807	28,830
負債性資本調達手段等	83,200	83,200
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	11,706	14,960
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	60,420	60,654
保険リスク相当額 R_1	9,628	9,614
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	430	414
予定利率リスク相当額 R_2	10,574	10,916
最低保証リスク相当額 R_7	23	18
資産運用リスク相当額 R_3	47,594	47,495
経営管理リスク相当額 R_4	1,365	1,369
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	809.9%	872.0%

(注) 1. 上記は保険業法施行規則第86条、第87条及び1996年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。
2. 最低保証リスク相当額 R_7 は、標準的方式により算出しています。

■「2017年度第3四半期業績のお知らせ」8ページ：

6. ソルベンシー・マージン比率

<訂正前>

(単位：百万円)

項目	2016年度末	2017年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	244,679	279,060
資本金等	78,096	95,334
価格変動準備金	8,223	9,438
危険準備金	19,206	20,286
一般貸倒引当金	9	5
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	15,154	24,583
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 724	△ 640
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	29,807	28,443
負債性資本調達手段等	83,200	83,200
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	11,706	18,409
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	60,420	61,252
保険リスク相当額 R_1	9,628	9,575
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	430	406
予定利率リスク相当額 R_2	10,574	10,943
最低保証リスク相当額 R_7	23	14
資産運用リスク相当額 R_3	47,594	48,075
経営管理リスク相当額 R_4	1,365	1,380
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	809.9%	911.1%

(注) 1. 上記は保険業法施行規則第86条、第87条及び1996年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

2. 最低保証リスク相当額 R_7 は、標準的方式により算出しています。

<訂正後>

(単位：百万円)

項 目	2016年度末	2017年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	244,679	279,143
資本金等	78,096	95,334
価格変動準備金	8,223	9,438
危険準備金	19,206	20,286
一般貸倒引当金	9	5
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	15,154	24,583
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 724	△ 557
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	29,807	28,443
負債性資本調達手段等	83,200	83,200
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	11,706	18,409
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	60,420	61,252
保険リスク相当額 R_1	9,628	9,575
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	430	406
予定利率リスク相当額 R_2	10,574	10,943
最低保証リスク相当額 R_7	23	14
資産運用リスク相当額 R_3	47,594	48,075
経営管理リスク相当額 R_4	1,365	1,380
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	809.9%	911.4%

(注) 1. 上記は保険業法施行規則第86条、第87条及び1996年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

2. 最低保証リスク相当額 R_7 は、標準的方式により算出しています。

過去のニュースリリースの訂正箇所は以下のとおりです。

公表年月日	公表資料名	該当ページ
2017年11月24日	2017年度第2四半期（上半期）業績のお知らせ	業績ハイライト、P20
2018年2月14日	2017年度第3四半期業績のお知らせ	P8